

最優秀賞

水の未来

長岡京市立長岡第六小学校 四年

田中 敢太

みなさんは、水を使ったらどこに行くか分かりますか？答えは、
じょうかセンターです。

ぼくは、その内の一つ、らく西じょうかセンターに見学に行き
ました。

では、どうやって水をきれいにしているのでしょうか。

まず、沈砂池で、砂やゴミをとりのぞきます。つぎにポンプ室
で水を上におし出します。そして、最初沈でん池でどろ、小さい
ゴミなどをしずめて、とりのぞきます。そのつぎに、生物反のう
そうで、すぐ小さなゴミをびせいぶつがとつてくれます。びせ
いぶつは一ミリより小さくて、1、2しゅうかんで死んでしまう
ので、たくさんびせいぶつがいます。それと、びせいぶつのため
に空気を入れます。そのあと、最後沈でん池でどろをしずめて、
いよいよラストスパートのえんそを入れて、さいごに、きゅうそ
くろかちでろかをします。ろかは、まりもがしてくれます。そし
て、桂川にほうしゅつをします。

ぼくは、さいしよはくさくて、この水がほんとうにきれいな
るのかなあと思っていました。けれどさいごは、とつてもきれ
い、このぎじゅつはすごいなあと思いました。

もしこのぎじゅつがなくなったらどうなるでしょうか。それは、
町ぜんたいがきたなくなつて、川あそび、海水よくもちろんで
きなくなります。そして、魚がごみにおせんされるし、畑や田の
食べものもおせんされて、トイレができなくなつて、びょうきに
なる人やおなかをこわす人が多くなると思ひます。

ぼくは、おうちのトイレがこわれたことがあります。お母さん、
お父さんは、西友やコンビニのトイレをかりていました。よるで
もあさでも、家でトイレができることがとてもべんりだと思ひま

す。

なくなつたらこまるから、つまるようなものや、びせいぶつが
しんでしまうものをながさないことが、今、ぼくたちにできるこ
とです。

ぼくは、この下水どうの良さを、しらない人がいたら、おしえ
てあげようと思ひます。

そして、良い

「水の未来」

になつてほしいです。

ところで、みなさんが思う、水の未来は、どうなつていと思
ひますか。

ぼくは、やっぱり、何でもじょう化できるぎじゅつがある未来
がいいと思ひます。

でも、そういつたぎじゅつがあると、何でも流す人がいるかも
しれません。なので、みんなが、少しでも考えて流すことがもつ
と、良い未来に近づくかもしれない。

洛西浄化センターを見学して

向日市立第2向陽小学校 四年

今西 春乃

私は、洛西浄化センターを見学していろいろなことが分かりました。分かったことをみなさんに、伝えたいと思います。

下水しよ理のしくみは、まず下水管をよごれた水が通ります。次に、ごみをとるところとすなをしずめるところにいけます。その次は、ポンプ室からおいをとるところと最初沈でん池に行きます。最初沈でん池は、どろやごみをしずめるところです。次に、生物反応そうと活性おでいに、行きます。生物反応そうは、空気をいれたいところと活性おでいは、二十種類の小さな生物が小さなごみやよごれをがんばって食べてくれるところとす。その次に、最終ちんでん池に行きます。最終ちんでん池は、どろや活性おでいをしずめるところとす。最後に、塩をいれたいところとす。急そくろかをしてかつら川に流します。

すごかったことと初めて知ったことは、小さな生物がごみとよごれを食べているのがすくて初めて知りました。あと、最初はくさかったのに最後はくさくなくなっていたのと一日プール五百ばいぶんの水をきれいにしているすごいなあと思いました。また、いろはどんりゆうトンネルは、雨水によるこう水をふせぐと初めて知りました。「下水しよ理で、取りのぞかれたどろや活性おでいはだつ水機にかけて水分をとったのち固形ねん料化しせつや焼きやくろでもやして炭や灰にして、火力発電のねん料やセメント原料としてさい利用します」と洛西浄化センターのパンフレットに、かいてありました。私は、どろや活性おでいをさい利用するのがすごいなあと思いました。

勉強する中で、なんで水はくさくならないのかな？と思いましたが、なんでくさくならないのかは、川から浄水場に行つて家や学校などでつかった後の水は下水管を通つて下水しよ理場に行きます。そ

して、きれいにした水は川に流してくるくる回っているからなんだあーと知りました。もう一つ理由があつてダムがあるからだ、知りました。そのためダムは、大雨によるこう水をふせぐためと飲み水や農業に使う水をためるためと水げんの森で雨水をためるやくわりがあると知りました。

流していいものと流してはいけなないものがあります。流してはいけなないものは、油類や大きなごみを流してはいけなないものだと分かりました。

洛西浄化センターを見学して私がこれから大切にしたいことは、水をだしたままにしないこと、水をできるだけよごさないこと、水を使う量をへらすこと、油類やごみはふきとつてから流すこと、川や海や道路にごみをすてないこと、ジュースや食べのこしを下流に流さないこととす。そして、トイレではトイレットペーパー以外流さないこと、また水は必要ときだけ使うこと、水は必要ときだけ使うこともこれから大切にして、意識したいです。

私は、洛西浄化センターを見学して水は大事なんだなあと分かりました。だから、水を大事に使いたいです。

らく西じよう化センターの水のゆくえ

向日市立第2向陽小学校 四年

中村 莉瑚

わたしは、洛西浄化センターを見学してきているいろいろなことが分かりました。

わたしは始め見学に行つて、中に入った時は、とても失礼だけども、最後に見た時は、においもくさくないし、水もにごつていないので、とてもびっくりしました。わたしは、そのために、たくさんくふうしていることが分かりました。たとえば生物は、ごみを食べてくれます。び生物は二十種類います。び生物が死なないように空気を入れます。パンフレットには、こう書いてありました。「家庭や工場からながされたよごれた水は、地下にうめてある下水かみんを通つて洛西浄化センターへ集められます。そこでまずスクリーン（鉄格子）で大きいごみを取り、そのあと、最初沈でん池でういているごみや泥をしずめて、とりのぞきます。さらに生物反応そうへみちびきび生物がたくさん入っている泥（活性汚泥をくわえ、空気をふきこみます。活性おでのび生物はよごれを食べ、でんどんふえ、水はしだいにきれいになっていきます。最後に、最終ちんでん地で活せいおでいをゆつくりしずめ、すつかりきれいになったしよ理の上ずみを消どくのうえ、ろかして桂川にながします。取りのぞかれたどろや活せいおでいはだつ水機にかけ水分をとつたのち、こ形燃料化しせつや焼きやくろで燃やして炭や灰にして、火力発電所の燃料やセメント原料としてさい利用します。」と書いてありました。それを読んで私が気を付けようと思つたことは、水を出しっぱなしにしないこと、お皿がよごれていたら、ふいてからあらうこと、はやすいこうに、ごみを入れないこと、などです。気をつけていこうと思ひました。

すごいと思つたことが三つあります。一つ目は、最後にえんそ

を入れて、消どくをしてから、かつら川に流すことです。理由は、最後にえんそを入れるまでして、とてもくふうしていたからです。二つ目は、一日にプール五百ばい分の水も、きれいにしていることです。わたしは、プール五百ばい分もきれいにするのは、一日でこんなにいっぱいきれいにしている、すごいと思ひました。三つ目はいろはどんりゆうトンネルです。いろはどんりゆうトンネルは、雨水によるこう水をふせいですごいと思ひました。使つた水は、家や学校から、らく西じよう化センターへ行つて、下水しよ理に行き、桂川へ流れます。わたしが、大切にしたい事はトイレにトイレットペーパーいがいは流さない、はい水こうにごみなどは流さない、お皿がよごれていたなら、ふいてからあらうということです。

わたしは、らく西じよう化センターを見学して、わたしたちの知らないところで、とてもくふうしていることがわかりました。ちよつとでも、水をきれいに使えたらいいなとわたしは思ひました。

佳作

らくさいじょうかセンターではたらく人々

向日市立第2向陽小学校 四年

前田 花穂

わたしはらくさいじょうかセンターにいつてじょうかについて学びました。らくさいじょうかセンターでは、たいてい7時間、8時間かけて水をきれいにしています。らくさいじょうかセンターではたらいしている人は、やってくる水のくささになれているといつていました。私たちがおうとともくさかったです。

まずさいしょちんでんちでどろやごみをしずめます。次に、活性おいでびせいぶつにこまかいごみやどろをとってもらいます。びせいぶつは目に見えないほど小さくさいいででもけんびきょうでみえないほど小さなびせいぶつがいます。

さいごにさいしゅうちんでんちでどろをしずめます。これできれいな水になります。

どろはりようをへらしてメタンガスをつくり、どろをもやし、セメントげんりようになつたりします。どろはさいしゅう、こけいねんりようかしせつにはこばれます。そうするとちきゅうにやさしいのです。

らくさいじょうかセンターではたらく人はまい日こうかんで24じかんはたらいしています。

水はかぎりあるしげんなのでむだずかいせずみんなが安心してのめる水にしましょう。らくさいじょうかセンターをおった水はかつら川へいきまたどこかでだれかがつかっています。

水のつかいかたはだいたいふろになっています。つかわないときにシャワーをつけっぱなしにしたり、おふろの水のりようが大すぎるときはシャワーをとめたり水はほんぶんにしたり、水のつかうりようをへらしてみてください。

しよつきなどをあらうときはつけおきおしたり、ウエットティッシュをつかうなどをしてください。

せんたくをまとめてするなどもしてみてください。雨水をつかったりかいすいをつかったりもしてみてください。

ちきゅうじょうにあるほとんどの水は海水です。生活につかう水は3%しかありません。みんな水をたいせつにしましょう。

じょう水じょうではたらく人のことはわかりましたか？

らくさいじょうかセンターにきた水は、またかつら川にながされます。

きょうみのある人はらくさいじょうかセンターへ足をはこびじょうかについて学んで見てください。

佳作

わたしたちの水

長岡京市立長岡第六小学校 四年

吉田 葵

みなさんは海や川に流れているキレイな水がどこから来ているか知っていますか？

乙訓の川を流れるキレイな水はいつも、洛西浄化センターから来ているんです。

ではどうやって、水をキレイにしているんでしょうか？

まず始めにちん砂池できたない水の中の大きなゴミや土などを取りのぞきます。この時の水はともくさかったです。

次に、最初ちんでん池できたない水をゆるやかに流して、小さいゴミやどろをはずめます。この時の水は最初よりましただけどまだくさかったです。

そして、反応タンクで汚水にび生物の入った活せい汚泥をまぜ、空気をふきこんで汚れをはずみやすくします。この時はもうほとんど水のおいししませんでした。

その後、最終ちんでん池で分かいしてしずみやすくなった有機物をしずめてキレイにした水とどろに分けます。この時はもうじゆう分、キレイな水になってると思いました。

次に消どくせつびは水に消どくして、海や川に流せる安全な水にします。

最後に水しつ検査室で、しよりした水が川に流せるかどうかチェックするのが水しつ検査室。

これをまとめて水しよりとよびます。

わたしが1番おもしろいと思ったのは、び生物の説明です。なぜかというたび生物はいろいろな形や名前があるからです。び生物はとも小さくて大きいものでも、1ミリメートルほどのサイズなんですよ。

わたしが一番すごいと思ったのは、洛西浄化センターで働ら

ている人たちです。毎日毎日きたない水がやってきて、その水をしよりするんですよ。さらに

「毎日かいてたらそのうちなれる。」

と言っていました。どう考えてもあの水のおい、なれる気がしません。

わたしは今まで、じゃ口をひねったらキレイな水がでてくるのがあたり前だと思ってきました。けどそれは当たり前じゃないということが分かりました。水はかぎりある大切なしげんです。みなさんも水を大切に使いましょう。